



「子どもの問題」に向き合って

平成29年度活動報告

市では、「長門市人権教育推進委員会」を中心として、市民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな社会の実現に向け、地域に密着した人権教育・人権啓発活動を推進しています。

今年度は、「子どもの問題」を中心課題として取り上げ、3回のセミナーと1回のフェスティバルを開催しました。

テーマは「子どもの問題」

今年度、「山口県人権推進指針」に掲げられている16の人権課題の中から取り上げたのは「子どもの問題」。近年、少子化の進行や家族形態の変化、共働き家庭の増加などにより、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変わり、子育てと仕事の両立に加え、児童虐待や不登校、育児放棄や子どもの貧困など大きな社会問題となっています。

こうした中、県をはじめ本市では、家庭教育の充実に向けた各種支援や「地域協育ネット」



▲山口県人権推進指針

第1回 長門市人権教育セミナー

●開催日 7/27(木)
●場所 ラポールゆや
●参加者 約110人

ヒューマンネットワークゆい代表の岸かおるさんを講師として、「子どもはみんなの宝物」子どもに関する様々な問題」の演題で講演を行いました。

講演では、岸さんの子育て経験と幅広い見識をもとに、親として、大人として子どもたちに伝えなければならないことや子どもとの向き合い方、また、諸外国の子育て事情や、生活環境



▲講演する岸さん

●参加者の声

▼すべての人が「子どもはみんなの宝物」と思える世の中にするためには、大人であるわたしたちが子どもや親の様子をもっと見て、支えていくことが大切だと思いました。

第2回 長門市人権教育セミナー

●開催日 9/23(土)
●場所 市役所三隅支所
●参加者 約30人

第2回は、平成28年12月16日に「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布・施行されたことを受け、同和問題に対する正しい知識と認識を深めようとビデオフォーラムを実施しました。「同和問題」過去からの証言、未来への提言、未来に向けて」のDVDを全員で視聴し、グループ別の研修に取り組みしました。

平成14年に国の特別対策が失効した後、「同和問題」に対する意識や認識が薄れてきている中で、誤解や偏見を招かぬように、歴史的背景や同和対策の経緯、また今後の取組を真剣に考える良い機会となりました。



▲同和問題をテーマに意見交換

●参加者の声

▼同和問題については、これまであまり知識がなかったのですが、とても良い学びの機会となりました。長年対策が行われてきても未だに解決できない同和問題に対して、これからの課題を一人ひとりが考え、意識していく必要があると思いました。

▼これからの子どもたちにも正しく同和問題を知らせていくことが大切だと思いました。これから先、生きていく上で何があろうと「人を大切にする」という思いをすべての人が持っているものです。

長門市人権フェスティバル

●開催日 11/3(金)
●場所 長門市中央公民館
●参加者 約130人

山口県人権啓発活動地域ネットワークによる「人権の花」「人権作文」の表彰の後、大阪府子ども家庭サポートの辻由起子さんが「大人が変われば子どもが変わる！～みんなで支える・考える 子育ての今・未来～」の演題で講演を行いました。

リスクだらけの子育て経験と小・中学校の相談員の経験から、社会全体で子どもの成長を支え、見守ることの大切さが説明されました。



(上) 作文の表彰式
(右) 講演する辻さん

●参加者の声

▼人間社会は互助で成り立つという考え方が素晴らしいと思います。昔と今では子育ての状況が違ふということ、子育て世代以外の人がしっかりと理解する

第3回 長門市人権教育セミナー

●開催日 12/3(日)
●場所 日置農村環境改善センター
●参加者 約140人

本セミナーは、「第38回日置地区あたたかいふるさとづくり研修大会」を兼ねての開催となりました。

開会行事では、日置女声合唱団「白い風車」による合唱が行われ、続いて長門市青少年育成市民会議日置支部長から「絵手紙」優秀作品の表彰があり、10人の園児・児童・生徒に賞状が授与されました。

日置地区の小学校児童、中学校・高校の生徒による意見発表が終わると、北九州市立大学教授の河嶋静代さんが登壇し、「子どもの権利って何？」子どもの



(上) 「白い風車」の合唱
(右) 講演する河嶋さん

自由・安心・安全を保障するために」という演題で講演を行いました。

●参加者の声

▼合唱の歌声、子どもたちの意見発表はとても素晴らしいかったです。会場を飾る絵手紙も心が温かくなりました。講演では、未来を担う子どもたちが人権をしっかりと理解し、よりよい世の中をつくっていくよう、わたしたちもしっかり考え、相手を理解することが大切だということ学びました。

▼子どもの問題として聞きましたが、お年寄りに当てはめても同じことが言えるのではないかと考えさせられました。



本年度の取組を振り返って

長門市人権教育推進委員 岡藤千枝子委員長

本年度の取組を終え、各セミナー参加者の皆さまにアンケートをお願いし、感想や要望をお聞きしました。

開催時期については「他の行事も多く、日時が重なり参加が難しい」、内容については「子どもたちに人権意識が備わるよう、親子を対象にした内容や、インターネットの問題について学習してみたい」、ほかにも「とても良い機会なので、募集方法など多くの人が参加できるように工夫できると良い」など、貴重な意見をいただきました。

次年度に向けて、1人でも多くの方が参加できるセミナーにしていきたいと思っています。どうぞよろしく願います。